

おひさまだより



65歳未満で発症した認知症を「若年性認知症」といいます。働き盛りに仕事や家事が十分にできなくなることで、身体的にも精神的にも高齢者とは異なる生活課題があります。

神戸市社協では、若年性認知症の本人・家族のニーズを把握し、若年性認知症支援のあり方の検討、啓発、個別支援に取り組むため、交流会「おひさま」の定期開催や、初期・若年性認知症特化型デイサービス「おひさまクラブ」を実施しています。また、「おひさまだより」等の発行を通して、若年性認知症についての理解が広がることを目指しています。

No.15 平成27年12月発行

最近のおひさま…10月は枝豆狩り体験バスツアーに行ってきました！

交流会「おひさま」では、毎年1回バスツアーを行っています。これまで、芋ほりや城崎温泉、淡路島散策に行きました。

今年は、農業体験を通して都市と農村との交流活動をされている「ふるさとひょうご創生マイスター18」さんにご協力いただき、兵庫県篠山市へ黒豆の枝豆狩り体験に行ってきました。

10月17日。大型バスに乗り、総勢43人で出発！少し長いバス移動ですが、おしゃべりやギター演奏に合わせたカラオケをしていたらあっという間に第1目的地「県立ささやまの森公園」に到着。昼食を食べた後、自然いっぱいの森公園を散策。写真を撮ろうとうろろうしていると、夢中で何かを拾う参加者の姿が。いっぱいになった手の中には、帽子をかぶったまんまるのどんぐり！神戸では見かけないかわいい姿と一緒に癒されました(*^^)



さて、散策後はメインイベントの枝豆狩り体験です。ひろ～い畑の奥から一人二株採ってきて、袋詰めをします。枝が長いからなのか、みなさん背筋をシャンとして、大きな株を両手に持って颯爽と歩いてきます。その表情は自信がみなぎっているようでした。

あとはコツコツと豆を枝からもいでいきます。日差しが暑い中でしたが、楽しく、真剣に作業される姿に、自然の力や役割の大切さを感じた時間でした。



いつものバスツアーより長距離の移動でしたが、お天気にも恵まれ、枝豆もたくさん持って、みんな笑顔で帰ってこれることができました。

企画して下さったふるさとひょうご創生マイスター18の皆さまと、現地でお世話になった皆さま、本当にありがとうございました。また、来年も楽しいバスツアーができますように！

診断を受けた方へ・交流会をのぞいてみませんか？

認知症を発症しても、前向きに、家庭や地域、職場での生活を続けている方がたくさんいます。

まだ具体的な困りごとがなくても、交流会などを通じて早い時期から新しい繋がりや仲間を作っておくことは、病気を正しく理解し、今後のことを前向きに考えていく上で大切です。

私たちも、病気の症状やご本人のこと等をお聞きし、どのような形でご本人が社会とのつながりを持ち、活躍できるかを一緒に考えて行きたいと思っています。診断をされて、まだ参加や相談を迷っておられたら、一歩踏み出してみてください。

尼崎にも集いの場ができました！

おひさまに来てくださったご家族が、「自分の地域にも若年性認知症の本人や家族が集える場所があればなあ」と、地域包括支援センターや尼崎市社協と一緒に考え、『若年性認知症ふれあいサロン』を今年11月14日(土)に開催されました。

次回は平成27年2月頃に開催計画とのこと！

<お問い合わせ先>
尼崎市「大庄南」地域包括支援センター
☎ 06-6417-0125

黒豆の枝豆
とったど～！



おひさまクラブ紙芝居隊 ～初めての児童館公演会～



「今日は、この大きな紙芝居をみなさんに見ていただくと思いやってきました。この大きな紙芝居は私たちが作りました。一生懸命練習してきたので、よ～く聞いてくださいね。それでは『キリンちゃんのおさんぽ』のはじまり、はじまり～」

10月某日、初期・若年性認知症特化型デイサービス「おひさまクラブ」のメンバーは、緑のオリジナルベストを着て、須磨区内の児童館へ行ってきました。紙芝居公演を始めて12回目の公演会です。今回のお客さんは2～3歳児の親子11組、いつもより小さなお客さんの目は大きな紙芝居にくぎ付けで、最後まで集中してお話を楽しんでくれました。



紙芝居のあとは、新聞紙をちぎって一緒に遊びました。あっという間に打ち解けて、大人も子どもも笑顔で大はしゃぎ！

終了後のアンケートでも、以下のようなうれしい声をいただきました。

- ◆ みなさん社会的でやさしく、子どもたちと楽しく遊んでくださって親子ともに楽しい時間でした。
- ◆ 笑顔で遊んでくれてとても優しい方々だぁと思いました。大変な時もあるのですが、頑張っておられると思いました。
- ◆ 認知症とは思えないほどで、イメージが変わりました。
- ◆ 表情が穏やかで、もっとこういう機会があればいいと思いました。

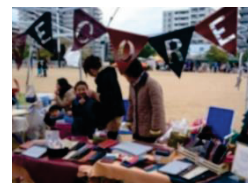
今回、事前に児童館職員や参加される保護者に対し、若年性認知症のことをお伝えする時間を設けました。正しく理解していただくことで、大きな混乱もなく双方が楽しく時間を過ごすことができました。このような活動を通じて、認知症について理解する場づくりも進めて行きたいと思います。紙芝居公演のご依頼もお待ちしています♪

地域の支援活動紹介 ～NPO法人COREnnection(コアネクション)の就労支援～

「仕事を辞めて毎日暇で、行くところがない」と相談を受け、ご紹介したNPO法人COREnnectionさんにおじゃましてきました。若年性認知症と診断された方の「働く場所」として、長田区で、就労支援を中心とした支援をされています。



仕事内容は、靴のまち長田の特色を活かし、靴職人やデザイナーと協力し、レザー・ペーパークラフトの製作です。見学に伺った日は、革を使ったクリスマスオーナメントを作っておられました。和気あいあいと、認知症についても隠すことなくお話をされている雰囲気に「安心感」を感じる空間でした。ご紹介したご本人も「病気の事も色々教えてくれるし、やる事があって嬉しい。楽しいよ！」といつも教えてくださいます。



作られた製品は、毎月第4土曜日に開催される「湊川公園手しごと市」やインターネットで販売され、売上はご本人の収入に反映されます。おしゃれな鞆や小物もたくさん作られています。見て興味を持つこと、買うことでも応援になります。一度覗いてみてはいかがでしょうか♪

【ホームページ】<http://corennection.com/>

【Facebook】<https://m.facebook.com/corennection/>(日々の活動をFacebookで紹介されています)

若年性認知症交流会「おひさま」は、毎月第3土曜日に開催しています！
次回12月19日(土)はみんなで一緒に「おひさま料理教室」です！
※事前にお申込みください。
<平成28年の予定>
1月16日・2月20日・3月19日
それぞれ土曜日の10:30～15:00



<発行・お問い合わせ先>

神戸市社会福祉協議会 福祉事業課
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター4階

電話 078(271)5316 FAX 078(271)5366

Mail zaitaku@with-kobe.or.jp

URL <http://www.with-kobe.or.jp>

神戸市社協 おひさま

検索